

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	3 民生費	課・係名			
基本目標		誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり	施策	健康長寿の村づくりの推進	項	1 社会福祉費	民生課			
					目	2 老人福祉費	生活環境係			
事業通番	事業名	後期高齢者医療事業			予算額			決算額		
131210					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	後期高齢者医療の医療費負担			事業費	78,456	▲ 11,053	67,403	事業費	67,297
			財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0
				県支出金	0	0	0		県支出金	0
				地方債	0	0	0		地方債	0
				その他	1,290	0	1,290		その他	1,309
				一般財源	77,166	▲ 11,053	66,113		一般財源	65,988
事業の内容及び成果・今後の課題										
内容		事業費(円)	内容・成果							
後期高齢者医療広域連合負担金		65,458,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>療養給付費負担金・・・62,283,885円</li> <li>事務費負担金・・・3,174,815円</li> </ul>							
後期高齢者医療健診事業		1,483,680	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診受診者数 210人</li> </ul>							
後期高齢者人間ドック補助事業		355,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック補助 日帰り@20,000円×14人</li> <li>1泊 @25,000円×3人</li> </ul>							
合計		67,297,380								
<p>■課題及び今後の取組</p> <p>早期発見、早期治療による医療費の抑制に繋がるように、関係部署と連携して健診等の受診率向上に努める。</p>										

活動指標	項目					成果指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	いきいき検診、人間ドック補助の広報	回	1	1	100%		後期高齢者特定健診	人	200	210	105%
					#DIV/0!		後期高齢者人間ドック補助	人	20	17	85%
				#DIV/0!					#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	特定健診及び人間ドックを受診することにより、生活習慣病をはじめとする体の異常の早期発見につながっている。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款 4 衛生費	課・係名			
基本目標		人と地球にやさしい村づくり	施策	農村の原風景と環境保全の推進	項 1 保健衛生費	民生課		
					目 4 環境衛生費	生活環境係		
事業通番 141403	事業名	環境公害対策費		予算額			決算額	
	事業目的	村民の生活環境及び自然環境を保全する。		当初予算額	増減額	予算現額	事業費	539
		事業費	802	▲ 143	659	事業費	539	
		財源内訳				財源内訳		
		国庫支出金	0	0	0	国庫支出金	0	
		県支出金	0	0	0	県支出金	0	
		地方債	0	0	0	地方債	0	
		その他	62	0	62	その他	0	
		一般財源	740	▲ 143	597	一般財源	539	
事業の内容及び成果・今後の課題								
内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題				
河川などの水質検査	497,640	河川などの環境保全を目的に水質検査を実施。年4回（4月・7月・10月・12月）、村内13箇所の河川水質検査を実施。村公式サイト、広報誌に掲載し、河川水質検査の結果の周知を行った。		農作業の時期より結果に影響があるため、タイミングに注意したい。				
家庭簡易浄化槽汚泥汲み取りあっせん	0	河川の浄化を目的に、年3回（春・夏・秋）家庭簡易浄化槽汚泥の汲み取りについてあっせんを行う。汲み取り件汲み取り量 … 43件（10,500L）						
外来植物駆除事業	0	●下高井農林高校とのアレチウリ駆除連携事業 例年であれば、ふう太河童川普請と合わせて行う予定であったが、下高井農林高校のイベントが、川普請当日と重なり、都合が合わなくなったため見送ることとなった。 啓発のため、広報誌にて村民への周知に努めた。		外来種駆除事業は県内で実施している市町村は僅か。 広報による周知の活動を継続して行い、外来植物についての知識を村民と共有するとともに、ボランティアを募り、駆除活動を行う。				
その他	41,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな環境づくり北信地域会議負担金 … 5,000円</li> <li>剪定木チップ化機器負担金 … 32,000円</li> <li>広報折込料 … 4,400円</li> </ul>						
合計	539,040							

活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	河川の水質検査	回	4	4	100%		公害苦情件数の減少	件	5	4	80%
	不法投棄、野焼き防止の啓発	回	1	1	100%						#DIV/0!
	外来植物駆除のための広報（TV広報含む）	回	3	1	33%						#DIV/0!
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	外来植物駆除については、県内を見ても活動が少なく、駆除をしても繁殖してしまうため意識が低い。意識向上のためには、今までとは違った形での広報活動が必要と思われる。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	・外来植物駆除広報の適時実施が求められる							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	4 衛生費	課・係名			
基本目標		人と地球にやさしい村づくり	施策	ごみの減量化とリサイクルの促進	項	1 保健衛生費	民生課			
					目	4 環境衛生費	生活環境係			
事業通番 141404	事業名	一般廃棄物処理事業			予算額			決算額		
	事業目的	・木島平村廃棄物の処理及び清掃に関する条例並びに木島平村一般廃棄物処理計画に基づき事業を行う。 ・ごみ処理等広域行政組合で共同で処理することによって業務の効率化を図る。 岳北広域行政組合への各種分担金			事業費	97,481	▲ 645	96,836	事業費	91,297
			財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0
				県支出金	0	0	0		県支出金	0
				地方債	0	0	0		地方債	0
				その他	1,177	0	1,177		その他	1,338
				一般財源	96,304	▲ 645	95,659		一般財源	89,959
事業の内容及び成果・今後の課題										
内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題					
一般廃棄物分別収集委託業務	14,300,000	村内の家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみなどを定期的に収集するため、委託業者へ分別収集委託する。			可燃ごみを減らす取り組みとして、生ごみを極力減らすよう、適宜広報誌などでコンポスターの生ごみ減量の方法を周知していく。					
粗大ごみ回収業務	122,100	年1回秋季に処分委託業者と村内全域を周り、村内の家庭から排出される粗大ごみの回収を行う。 回収されたごみの中に含まれる金属類は有価物で売渡される。 ・(収入) 有価金属など販売代金 … 1,400円			環境衛生委員への事前連絡をより詳細な文書にまとめ、混乱が無いように依頼する。 円滑な事業実施のため、計画前に回収ルートをよく見回りする必要がある。					
休日エコプラザ運営業務	47,190	毎月、最終日曜日に木島平浄化センターにて資源ごみ回収を行う。毎度多くの村民の方に利用いただいております。資源ごみの回収場として一定の評価があると考えている。 ・休日エコプラザ運営委託料 … 47,190円			ペットボトル回収用ネットやガラスびんコンテナの経年劣化が原因で、使用できる備品の数が年々減ってきている。近い内に備品の補充をする必要がある。					
古紙類売渡委託業務	0	村内で分別回収した古紙類を入札で決定した委託業者へ売り渡す。年々単価が上昇する傾向にあり、安定した村の収益となっている。 ・(収入) 古紙販売代金 … 920,845円			可燃ごみとして出せばただのごみになってしまうが、資源ごみとして出せば再利用され、かつ村の収益につながるため広報活動に努めたい。					
古布回収委託料	7,755	年1回秋季に休日エコプラザ倉庫で古布回収を実施。			年1回では少ないといった要望が寄せられたため、令和6年度から、夏と冬の衣替え時期の2回実施する。					

ごみステーション設置補助金	100,000	ごみステーションを新規購入、設置を行う区への補助金。 【実績】 ・中村区 1件	環境衛生委員会などで老朽化が進んだごみステーションなどがあるか調査し、新規購入が必要かどうか確認が必要。
生ごみ削減対策補助金	320,200	日頃家庭から出る生ごみを減量させるべくコンポストなどの購入費削減を目的とした補助金。処理機・処理容器の購入費の2/3、処理機5万円、処理容器2万円を限度額として補助を行う。 【実績】 ・生ごみ処理容器補助金申請件数 … 22件	より多くの補助申請が行われるように、広報活動に力を入れたい。
その他	76,399,938	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラスびんパッカー車維持経費負担金 … 18,408円</li> <li>・プラスチック容器包装処理負担金 … 794,572円</li> <li>・食用廃油処分委託料 … 9,900円</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>岳北広域行政組合負担金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理処分施設費分担金 … 58,266,000円</li> <li>・グリーンパークみゆき野分担金 … 14,089,000円</li> <li>・火葬場分担金 … 3,187,000円</li> <li>・その他消耗品 … 30,108円</li> <li>・広報折込料 … 4,950円</li> </ul>	
合計	91,297,183		

活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	ごみ減量化のための広報（TV広報含む）	回	6	7	117%		可燃ごみの減量化	%	5	9	180%
	組成調査の実施	回	4	4	100%						#DIV/0!
	休日エコプラザの開催	回	12	12	100%						#DIV/0!
	粗大ごみの村内一斉収集	回	2	2	100%						#DIV/0!
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	広報活動・組成調査が功を奏し、燃えるごみ処理量の前年比▲5%を達成した。引き続き意識向上のため、広報等を実施していく。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理費の減額対策が必要。</li> <li>・個人負担額の検討を要する。</li> <li>・食品ロス削減の取組が求められる。</li> </ul>							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	C										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画					款	8 保健事業費		課・係名			
基本目標		誰もが健康で仲良く暮らせる村づくり		施策	健康長寿の村づくりの推進			項	2 特定健康診査等事業費		民生課		
								目	1 特定健康診査等事業費		生活環境係		
事業通番	事業名	【国保特会】特定健康診査等事業					予算額			決算額			
782101	事業目的	特定健康診査・特定保健指導 被保険者の健康の保持・増進を目的とし、医療費の抑制につなげる。					事業費	4,801	▲ 500	4,301	事業費	4,079	
				財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0		
					県支出金	2,389	▲ 427	1,962		県支出金	2,062		
					地方債	0	0	0		地方債	0		
					その他	0	0	0		その他	0		
					一般財源	2,412	▲ 73	2,339		一般財源	2,017		
事業の内容及び成果・今後の課題													
<p>■事業内容及び成果 40歳～74歳の加入者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査・保健指導の実施。 未受診者に対する受診勧奨通知や、40歳未満の被保険者の若者健診も実施。 消耗品・郵便料等 313,658円 特定健康診査委託料 3,765,234円</p> <p>■課題及び今後の取組 特定健診等を行うことにより、糖尿病等の生活習慣病及びその予備群の早期発見・指導につながり、現在及び将来的な医療費抑制を図る。 受診率向上のために、対象者の把握や状況に応じた対応を関係部署と連携しながら事業を進める。</p>													
活動 指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果 指標	項目	単位	目標	実績	達成度		
	特定健診受診者の助成	件	1200	1412	118%		特定健診の受診率の向上	%	60	58.6	98%		
	健診未受診者への通知	件	160	152	95%						#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察												
B	今年度の受診率、終了率は次年度9月以降に確定するため前年度分を指標としている												
評価委員評価													
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B										
公平性	B												
有効性	B												
効率性	B												